

熊本 S.J.C.D.例会 抄録

演 題 全顎的修復治療にジルコニアを用いた一症例

演者名 添島義樹

日 付 2007 年 9 月 25 日

keywords

1. オールセラミック
2. ジルコニア
3. 歯槽堤増大

抄録

現在、クラウンブリッジを用いた審美修復を行う場合、PFM 冠による修復が主流で、それを応用した臨床は幾多の先達の研究、努力によってほぼ完成の域に達していると思われま
す。しかし金属の存在により長期的には審美性に限界があることや、アレルギーの問題を考
慮しなければならない場合もあります。こうした背景から様々な手法、材料を用いたオールセ
ラミックシステムが開発され、普及してきました。その中でもジルコニアをフレームとしたものは生
体親和性に優れ、高強度、高靱性を有すことからブリッジワークでの応用も可能となり、これ
からの臨床で多用されていくものと期待されています。

今回、全顎的な治療にジルコニアを使用した症例を提示させていただきます。皆様の御
意見、御指導をよろしくお願いいたします。